

阿里山百年林鉄・全線 72km 秋に酔いしれる癒やしの旅

155 台湾國立永靖高級工業職業學校 室内空間設計科二年級

これは単なる列車の旅ではありません。山と森が育んだ生命の力に触れる、特別な体験です。標高 30m から 2,200m を超える高地へ、小さな列車は熱帯・暖帯・温帯の森をゆっくりと駆け抜けます。秋風に揺れる紅葉や色鮮やかなアジサイ、ツォウ族の「muni 音楽祭」に響く力強い歌声が、台湾ならではの秋のロマンを演出します。

途中の多林駅では、災害を乗り越えて再建されたツォウ族の「得恩亞納集落」を望み、人々が受け継ぐ文化と大地への想いを感じられます。沼平駅では、日本統治時代の趣を残す木造建築と現代建築が調和した美しい駅舎が、霧の中に幻想的な姿を見せてくれます。

百年の歴史を刻む「生きた鉄道博物館」を訪れ、林業鉄道の歩みに触れながら、雲海や朝日、森の静かな息吹を心ゆくまで満喫してみませんか。忙しい日常を離れ、豊かな自然に包まれながら、心に安らぎを取り戻す秋の旅へ出かけましょう。